

令和元年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ~人がつながるまち~			
	施策	01 協働 - 市民が主役の地域の輪づくりを推進します -			
重点プロジェクト		”オールふじみ野”まちづくりプロジェクト 美しくにぎわいのあるまちプロジェクト			
主管課	市民活動推進部 協働推進課	評価責任者	浦谷 健二		
		評価日	令和2年5月22日		
関連課	全庁各課				
目標	市内で活躍する市民活動団体の主体性を尊重した支援と、大学や企業等との連携を図り、多世代にわたる市民に対し、相互交流や地域での実践につながる場を提供し、協働のまちづくりへの意識の醸成と人材の育成を推進します。また、自治組織などの活動を支える仕組みの充実を図ります。				
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 協働のまちづくりの推進</p> <p>○市民活動団体や関係機関等と連携を図り、協働のまちづくりへの意識が醸成されるよう、市民の学びの場づくり及び意識啓発と人材育成に取り組みます。</p> <p>○協働のまちづくりという視点に立つ行政運営を進めます。</p> <p>(2) 地縁活動や市民活動の支援</p> <p>○自治組織や市民活動団体の活動について、主体性を尊重した支援を推進します。</p> <p>(3) コミュニティ施設の整備</p> <p>○自治組織やNPO法人、ボランティア団体の活動拠点となるコミュニティ施設の計画的な整備と機能の充実を図ります。</p>				

2. 施策指標と達成状況

網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策 目 標	指標 1	指標名	自治組織の加入率					
		説明	市内における自治組織の加入率。市民の協働によるまちづくりを推進する指標となるため。(指標の数値は累計)					
		単位	%					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	57.50	58.00	58.50	59.00	59.50	60.00
		実績値	54.00	51.50				
	指標 2	指標名	市民活動支援センターの登録団体数					
		説明	市民の協働によるまちづくりを行う機会の創出を図る指標となるため。					
		単位	団体					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	125	130	135	140	145	150
		実績値	124	127				
	指標 3	指標名	協働のまちづくりイベントへの参加者数					
		説明	市内における協働のまちづくりに関連するイベントの参加者数。協働によるまちづくりへの意識の醸成を図る指標となるため。					
		単位	人					
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値	1,050	1,100	1,150	1,200	1,250	1,300	
	実績値	1,192	1,201					
指標 4	指標名							
	説明							
	単位							
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							
指標 5	指標名							
	説明							
	単位							
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	146,787	127,994	136,856			
	人件費	48,085	58,469	57,006			
収入	特定財源	17,611	5,368	14,807			
	一般財源	177,261	181,095	179,055			

4. 評価対象年度の施策実施内容

網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組	自治組織の活動支援と加入促進	自治組織の様々な地域活動費や、活動拠点としての集会施設の維持管理費に対して補助金を交付した。また、自治組織連合会と共に未加入世帯を対象とした加入促進を行った。	市内57の自治組織がそれぞれの地域で、住み良いまちづくりに向けて防犯・防災・環境美化・コミュニティ推進などの事業を実施した。加入促進については厳しい結果が続いている。	自治組織活動等支援事業
取組	市民活動交流会の開催	市民活動支援センターの登録団体を中心に企画市民会議を立ち上げ、1年をかけて交流会の企画を行い、2月2日に市民活動交流会を開催した。	市民活動交流会には約860名の参加があり、展示や発表を通して交流を深めることができた。	市民活動支援センター運営事業(一部)
取組	プラスワン講座の開催	8月9日(パソコン)、11月29日(俳写)をテーマに講座を開催した。	8月9日(20名)、11月29日(20名)の参加があり、市民活動に役立ててもらうことができた。	市民活動支援センター運営事業(一部)
取組	協働のまちづくりフォーラムの開催	「魅力ある自治組織のヒントがここにある～Part2～」と題して平成30年度に引き続き自治組織の運営等に関する講演会を開催し、自治組織を中心とした51名の市民が参加した。	高齢化等による組織力の低下が進む中、参加者が自治組織の運営に活かせるようなヒントを得ることができた。	協働のまちづくり推進事業
取組	市民大学ふじみ野の開催	地域での学びの促進と人材育成を目標に、NPOとの協働により市民大学ふじみ野において講座を開催した。	レギュラー講座9(94名)、特別公開講座3(230名)、学び合い講座4(25名)の参加があった。	市民大学ふじみ野運営事業

5. 評価

評価	
指標の達成状況	協働のまちづくりについては、拠り所となる自治基本条例や協働のまちづくり推進指針等の策定や、包括連携協定の締結などを通して、市をあげて取り組めるような環境整備を続けてきたところである。実施している個々の事業は、その成果がすぐに現れることが難しいものが多く、市民の意識の変化や時代の流れに則した方策について、市民の意見を聞きながら常に見直していく必要がある。
おおむね順調	
行政資源の活用	
おおむね適切	
取組の有効性	
おおむね有効	
施策の効果	
効果が得られている	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		ゆめぼると運営事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ~人がつながるまち~			
	施策	01 協働 - 市民が主役の地域の輪づくりを推進します -			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 05財産管理費			
所管部課		市民生活部 市民総合窓口課		評価責任者	佐藤 龍司
事務事業期間		平成30年度～（庁舎管理等事務(支所)から分割）		評価日	平成31年4月5日
個別計画 根拠法令・条例等		ふじみ野市立ゆめぼると条例 ふじみ野市立ゆめぼると条例施行規則			
事務事業の内容	事務事業の目的	夜間や休日のホール等の貸出しに際し、適正な貸出管理と良好な環境衛生の維持を行うため管理人（業務従事者）2名体制で備品の貸出・返却、使用後の清掃等を行っている（利用時のみ、時間帯ごとの単価契約）。			
	事務事業の経緯	「ゆめぼると」は大井総合支所複合施設2階のスペースを、保健センターが使用しない日時に一般貸し出しするために設けられた、市民が集い交流し活動することを目的とした施設である。			
	事務事業の概要	「ゆめぼると」内の多目的ホール・プレイルーム・A会議室・B会議室を時間帯ごとに有料で貸し出ししており、その貸出に伴う施設の管理等を業務委託している。			
	令和元年度の主な取組	令和元年度、夜間及び休日の貸出187件（午前13件・午後85件・夜間89件）について貸室（多目的ホール等）の管理業務を委託した。業務内容：使用備品の貸出し及び取扱い説明、利用者案内及び利用者からの問い合わせ対応、貸室使用後の清掃の実施、利用報告書の受領・確認等。			

2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.25	0.25	0.25
		人件費	2,024	1,995	1,995
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.20	0.20
		人件費	0	769	769
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.40	0.38	0.43
	人件費	0	0	0	
人件費計		2,024	2,764	2,764	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	2,441	3,671	2,368	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	0	0	0		
支出合計		4,465	6,435	5,132	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	820	902	780
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		3,645	5,533	4,352	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		32	48	37	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	ゆめぼるとの稼働率（多目的ホール）		
	説明	貸館施設である「ゆめぼると」を市民に有効活用してもらうため、改修・建替工事等を控える公民館に情報提供し稼働率の上昇をめざした。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため施設利用を休止したためなどにより、稼働率が減少した。		
活動	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	35.00	30.00	33.00
	実績値	28.20	25.60	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>令和元年度の歳入【使用料】は902,500円、歳出【管理業務委託料】は3,818,080円、多目的ホールの稼働率は25.6%であった。稼働率が前年度（28.2%）より減少したものの、貸出回数は定期利用団体（社交ダンス）の増加等により増えた。本施設は保健センターが事業で利用しない日時にしか使用できない施設のため、稼働率が保健センターの事業の増減に左右されてしまう面がある。</p> <p>また、歳出は管理業務委託料のみで、光熱水費・消耗品費・修繕料は含まれていないが、住民サービスの向上を図るため、多目的ホールで使用する会議用テーブルの補修修繕を実施した。</p>
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	人件費やそれに伴う事務費などの高騰が懸念されるなか、令和2年度以降、経費の削減を図るため「ゆめぼると管理業務委託」の仕様や契約方法などを見直し、効率的な管理運営を目指す。
中長期的方向性	
継続	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		サービスセンターホール運営事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ~人がつながるまち~			
	施策	01 協働 - 市民が主役の地域の輪づくりを推進します -			
予算費目					
一般会計 02総務費 01総務管理費 08支所・出張所費					
所管部課		市民生活部 市民課		評価責任者	嶋田 恵子
事務事業期間		平成18年度~		評価日	令和2年4月1日
個別計画 根拠法令・条例等					
ふじみ野市サービスセンターホール条例					
事務事業の内容	事務事業の目的	市民の多種多様な活動を通して、市民相互の交流と地域社会の活性化を促進するため開設されたサービスセンターが安全に利用できるよう、維持管理を行う。			
	事務事業の経緯	平成18年5月、上福岡駅再開発事業によってココネ上福岡の2階にサービスセンターとして、多目的ホール及び会議室の貸館が開設された。駅前という好立地で利用目的を制限しない貸館であるため、現在ではコーラスサークル、コンサート、展示会、企業の研修など、市内・市外を問わず幅広く利用されている。			
	事務事業の概要	多目的ホール及び会議室を有料施設として広く一般に貸出しする。また、ホール・会議室内の設備・備品の保守、管理を行う。			
	令和元年度の主な取組	ホール・会議室の備品である机、椅子が経年劣化により壊れていたり、汚れが目立つようになり、利用者から苦情が入るようになったため、椅子クリーニングについて調査・検討した。令和元年度において、椅子10脚のクリーニングを実施したところ、効果があったため、令和2年度の予算ですべての椅子のクリーニングを行うこととした。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.50	0.60	0.50
		人件費	4,048	4,787	3,989
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		4,048	4,787	3,989	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	444	208	209	
	委託料	1,016	1,129	2,223	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	13	13	44		
支出合計		5,520	6,137	6,465	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	1,727	1,381	2,446
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		3,793	4,756	4,019	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		33	42	35	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	利用率について		
	説明	駅前貸館として好評を得ているが、利用者がほぼ固定化しており、利用率は横ばいとなっている。		
成果	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	48	49	49
	実績値	47	42	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	【事業実施内容】
	<p>サービスセンターホール・会議室管理・貸出 ホール・会議室の予約受付、使用料の徴収、貸出管理、清掃管理に関すること。</p> <p>備品管理 ホール・会議室内のAV機器、マイク、プロジェクター、ピアノ、机、椅子など備品の取扱い、保守、修繕に関すること。</p>
	【効果】
	<p>利用者からは、駅前で利便性があり、利用目的に規制がないため気軽に借りることができると好評を得ており、サークル活動、自治組織の集まりや会社の内部会議、健康診断等まで幅広く利用されている。</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	<p>上福岡駅前で利便性が良く、利用目的を規制しない施設として評価を得ているが、場所がわかりづらいとの意見もあり、利用率は横ばいとなっているため、広く周知宣伝し利用率の向上を図る必要がある。また、経年劣化に伴う備品等の修繕を計画的に実施していく必要があると思われる。</p>
中長期的方向性	
継続	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		コミュニティ活動推進事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ~人がつながるまち~			
	施策	01 協働 - 市民が主役の地域の輪づくりを推進します -			
予算費目					
一般会計 02総務費 01総務管理費 10コミュニティ活動促進費					
所管部課				評価責任者	村田 頼信
市民活動推進部 協働推進課				評価日	令和2年4月1日
事務事業期間					
昭和57年度~					
個別計画 根拠法令・条例等					
ふじみ野市補助金等交付規則、ふじみ野市コミュニティづくり推進連絡会補助金交付要綱、ふじみ野市花いっぱい運動推進事業補助金交付要綱					
事務事業の内容	事務事業の目的	時代にふさわしいコミュニティづくりを通して、地域コミュニティの醸成に寄与し、自治と連帯に支えられた心の触れ合う住み良い地域社会をつくることを目的とする。			
	事務事業の経緯	本事業は、コミュニティの形成による住みよい地域社会の実現を目指す市民生活の根幹となる施策であり、旧市町でそれぞれ実施してきた経緯を受け継ぎ、現在に至る。			
	事務事業の概要	ふじみ野市コミュニティづくり推進連絡会への補助金交付事務及び活動支援 ふじみ野市花いっぱい運動推進委員会への補助金交付事務及び活動支援 コミュニティ助成金交付事務 福岡河岸まつり実行委員会への活動支援 部及び課の庶務全般			
	令和元年度の主な取組	ふじみ野市コミュニティづくり推進連絡会への補助金交付事務及び活動支援 ふじみ野市花いっぱい運動推進委員会への補助金交付事務及び活動支援 コミュニティ助成金交付事務 福岡河岸まつり実行委員会への活動支援 部及び課の庶務全般			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.50	0.80	0.80
		人件費	4,048	6,383	6,383
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.83	0.00	0.00
	人件費	978	0	0	
人件費計		5,026	6,383	6,383	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	960	0	0	
	需用費	323	322	317	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	163	177	185	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	2,850	2,750	6,016	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	30	8	21		
支出合計		8,374	9,640	12,922	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	2,620	2,500	5,700
一般財源	5,754	7,140	7,222		
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		50	62	62	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標	指標名	コミュニティづくり推進連絡会 実施事業の回数		
	説明	時代にふさわしいコミュニティづくりを研究する当該連絡会の実施事業の回数は、住みよい地域社会づくりに向けての手段と考えられるため。 新たなイベントの企画に至らず、目標値よりも少ない7回の事業開催となった。(平成29・30年度同様の事業回数)		
活動	単位	回		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	8	8	8
	実績値	7	7	
指標	指標名	花いっぱい運動コンクールに参加している団体の数		
	説明	花いっぱい運動推進委員会の主要事業であり、参加団体の数は活動指標と考えられるため。 役員が東地域会長会・西地域町会長連絡会議に出席し、自治組織に参加の呼びかけを行ったため、平成30年度に比べ、参加団体数が1団体増加した。		
活動	単位	団体		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	30	30	30
	実績値	24	25	
指標	指標名	コミュニティづくり推進連絡会 実施事業への参加者数		
	説明	事業の周知強化に努めた結果、平成30年度に比べて、参加者数が79人増加した。 おおい祭り来客者730人、七夕まつり竹飾り従事者100人、チビッコ広場参加者130人、花栽培講座参加者38人、防犯講習会参加者83人		
成果	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	1,300	1,300	1,300
	実績値	1,002	1,081	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	【コミュニティづくり推進連絡会】 活動内容 ・定期総会 ・おおい祭りへの参加(模擬店出店) 参加者数 730人 ・上福岡七夕まつりへの竹飾り出展 参加者数 100人 ・チビッコ広場 参加者数 130人 ・花栽培講座 参加者数 38人 ・講演会(防犯講座) 参加者数 83人
	【花いっぱい運動】 活動内容 ・定期総会 ・花いっぱい運動コンクール (参加団体) 小学校の部 11校 中学校の部 5校 一般の部 9団体 (審査) 小中学校の部 10月31日(木) 一般の部 11月1日(金) 表彰式 11月15日(金) ・花風景写真コンテスト 応募数 5件 表彰式 11月15日(金)

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	コミュニティ活動推進事業については、今後においても多くの市民の目に触れるような周知を行い、引き続きさまざまな事業を展開することでコミュニティづくり醸成の支援をしていく。
中長期的方向性	
継続	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		協働のまちづくり推進事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト		"オールふじみ野"まちづくりプロジェクト			
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ~人がつながるまち~			
	施策	01 協働 - 市民が主役の地域の輪づくりを推進します -			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 10コミュニティ活動促進費			
所管部課		市民活動推進部 協働推進課		評価責任者	村田 頼信
事務事業期間		平成21年度~		評価日	令和2年4月1日
個別計画 根拠法令・条例等		地方自治法、ふじみ野市自治基本条例、ふじみ野市協働のまちづくり推進隊設置要綱			
事務事業の内容	事務事業の目的	地方分権時代を迎え、自己決定・自己責任の原則に基く地域経営を行っていくために、市民・市議会・市による協働の仕組みづくりを推進するとともに事業の実施を通して、協働のまちづくりを進める上で重要となる市民の自治力の向上とその啓発を行い、もって地域振興に資することを目的とする。			
	事務事業の経緯	本事業は、まちづくりの基本となる市民の市政への参加と協働によるまちづくりの推進を図るため、平成21年度にスタートした。その前年には、文京学院大学との包括連携協定を締結するなど、産学官連携のまちづくりを推進するとともに、市民との協働によるまちづくりを目指した事業を展開したものである。			
	事務事業の概要	自治の基本を定めた本市の自治基本条例が理念とする「参加と協働」を具体的に推進していくため、「協働のまちづくり推進隊」との協議、講演会等の開催により、協働の在り方を研究していく。			
	令和元年度の主な取組	協働のまちづくり推進隊との協議（意見交換） 協働のまちづくりフォーラム（協働のまちづくり推進事業講演会）の開催 包括連携協定との事業の実施			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.50	0.70	0.70
		人件費	4,048	5,585	5,585
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
	人件費計	4,048	5,585	5,585	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	88	35	35	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	10	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	79	120	139		
	支出合計	4,215	5,740	5,769	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源	4,215	5,740	5,769	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		37	50	50	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	協働のまちづくりフォーラムの回数		
	説明	協働のまちづくりフォーラムの実施回数は、事業目的を実現する手段の量として捉えられるため、令和元年11月30日（土）に開催した。		
活動	単位	回		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	1	1	1
	実績値	1	1	
指標 2	指標名	協働のまちづくりフォーラムへの参加人数		
	説明	参加者人数は、事業目的に対する市民の関心度や事業効果を反映するものとして捉えられるため、平成30年度同様に自治組織を中心に多くの方に参加いただいた。 平成30年度に比べ、参加者が減少した理由としては、講演会にグループワークを加えたことによつて、敬遠されてしまったことが考えられる。		
成果	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	50	65	65
	実績値	61	51	
指標 3	指標名	協働のまちづくりイベントへの参加者数		
	説明	市内における協働のまちづくりに関連するイベントの参加者数。協働によるまちづくりへの意識の醸成を図る指標となるため。（おい祭り出店：730人、上福岡七夕まつり竹飾り出展：100人、協働のまちづくり講演会：51人、協働のまちづくり推進隊会議：7人、KDDI総合研究所実証実験：62人、チビッコ広場：130人、コミ推連講演会：83人、花栽培講座：38人）		
成果	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	0	1,100	1,150
	実績値	1,192	1,201	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	【実施内容】
	<p>(1) 協働のまちづくり推進隊との協議（意見交換） 市との協働事業経験者、公募者から成る「協働のまちづくり推進隊」と協議（意見交換）を行った。 《内容》市民と市との協働事業に関する調査結果について</p> <p>(2) まちづくりフォーラムの開催 《内容》魅力的な自治組織の作り方を学習する機会として「魅力ある自治組織のヒントがここにある！～part2～」と題し、講演会を開催した。 《日時》令和元年11月30日（土）午前10時～正午 《場所》ふじみ野市役所本庁舎 5階 A大会議室 《講師》水津陽子氏（合同会社フォーティ―R&C代表）</p> <p>(3) 株式会社KDDI総合研究所との住民参加型実証実験の実施 《概要》安全安心と心身の健康に関する市民の悩み・ニーズに応える3つのトライアルを実施した。 《目的》「人がつながる豊かで住み続けたいまち」の実現に向け3つのトライアルを通じた安全安心と心身の健康の改善効果を検証。 《トライアル内容》 安心便利情報：提供トライアル参加者宅にロボットを設置し、世帯に応じたまちの様々な情報をワンストップでタイムリーに提供する。 AIコーチング：トライアル参加者へのトレーニングを喚起や、スマホカメラを利用したトレーニングのアドバイスをし、市のコミュニティやイベント参加を促す。 スマホ依存対策：スマホ依存のタイプに基づいた依存解消のための情報をタイムリーに提示し、スマホ依存低減と勉強を促す。 《日程》令和元年10月～令和2年3月（は令和元年10月～令和2年6月）</p> <p>○効果 市民参加による協働のまちづくり並びに人材育成、及び大学等との連携によるまちづくりは、効率的かつ効果的な市政運営に欠かせない概念となっている。事業を実施したことにより、協働のまちづくりの基盤づくりが着実に前進した。</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	(1) まちづくりフォーラムの充実 より多くの市民に協働のまちづくりの必要性を広めるためには関心を抱いていただけるフォーラムを開催する必要がある。その方策の一つとして、引き続き知名度の高い講師を選考し、フォーラムの参加者増を図るものである。
中長期的方向性	
継続	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	自治組織活動等支援事業		前年度の方向性
			継続
重点プロジェクト	"オールふじみ野"まちづくりプロジェクト		
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ~人がつながるまち~	
	施策	01 協働 - 市民が主役の地域の輪づくりを推進します -	
予算費目	一般会計 02総務費 01総務管理費 10コミュニティ活動促進費		
所管部課	市民活動推進部 協働推進課	評価責任者	村田 頼信
事務事業期間	平成17年~	評価日	令和2年4月1日
個別計画 根拠法令・条例等	ふじみ野市自治組織の設置及び振興等に関する規則、ふじみ野市自治組織連合会補助金交付要綱、ふじみ野市自治組織運営等活動費補助金交付要綱 外		
事務事業の内容	事務事業の目的	・市内の自治組織が相互に連携し、地域の活性化と生活環境の改善を図り、もって地域社会の福祉の向上と住民自治の確立に寄与することを目的とする。 ・自治組織に補助金を交付することにより自治組織活動を支援し、住民自治の推進及び豊かな地域社会作りを構築することを目的とする。	
	事務事業の経緯	本事業は、標記の目的を達成するため、平成17年から現在に至るまで継続して実施している。開始当初から平成18年度までは各自治組織に「報償金」として支給。平成18年の補助金見直し方針に則り、公益性・明確性を確保し、市と自治組織の対等な関係を維持するため、平成19年度以降は「補助金」として行っている。	
	事務事業の概要	以下に代表される事業活動を補助する。 【自治組織運営費補助、事業費補助及び集会施設維持管理費補助】 自治組織の運営及び自治組織の自主事業の実施。 自治組織集会施設の維持管理 【ふじみ野市自治組織連合会補助】 自治組織相互の連絡調整と親睦を図ること。 市及び関係機関との連絡調整に関すること。 市及び関係機関に対する提言等に関すること。	
	令和元年度の主な取組	自治組織の運営費、事業費等への補助 自治組織の集会施設維持管理費への補助（自治組織所有のLED防犯灯の電気料の補助も含む） ふじみ野市自治組織連合会への補助 集会施設の土地の賃貸借費の補助	

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.60	0.70	0.70
		人件費	4,858	5,585	5,585
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
	人件費計	4,858	5,585	5,585	
事業費	報酬	0	0	166	
	賃金	0	0	0	
	需用費	2,949	357	1,322	
	委託料	0	113	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	34,195	32,696	38,366	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	81	80	121		
	支出合計	42,083	38,831	45,560	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	17	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	700	0	0
		基金	0	0	3,647
		その他	15	0	19
	一般財源	41,368	38,814	41,894	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		362	339	360	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	防災防犯・環境美化・コミュニティを実施している自治組織の割合		
	説明	自治組織の活動の補助の成果として、地縁コミュニティ活動が多角的にバランス良く実施されていることを数値化する。		
活動	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	100.00	100.00	100.00
	実績値	98.20	98.20	
指標 2	指標名	自治組織の加入率		
	説明	市内における自治組織の加入率。市民の協働によるまちづくりを推進する指標となるため。 (指標の数値は累計) 他市状況(H31.4.1現在)：富士見市67.75%・川越市74.04%・所沢市61.2%・志木市56%・朝霞市41.4% 和光市39.68%		
成果	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	57.50	58.00	58.50
	実績値	54.00	51.50	
指標 3	指標名	ふじみ野市自治組織連合会への自治組織の加入率		
	説明	ふじみ野市自治組織連合会の効率的かつ円滑な活動のためには、市内の全自治組織の加入が前提条件であるため。 全ての自治組織が自治組織連合会に加入している。		
成果	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	100	100	100
	実績値	100	100	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	【事業内容】
	<p>(1) 各自治組織の活動支援 自治組織補助金(運営費・事業費・施設管理費) 30,887,541円 集会施設修繕費補助金(3団体) 1,000,000円 自治組織連合会補助金 400,000円 集会施設賃貸借(埜自治会) 408,000円</p> <p>(2) 自治組織加入促進 市報(特集)及び市ホームページに加入促進のための記事を掲載(5月・11月) おい祭り本部での加入相談ブースの設置(7月) 11月を「加入促進月間」と定め、自治組織連合会の協力を得て、自治組織への未加入世帯へ加入促進チラシの配付 協働のまちづくり推進事業講演会で「魅力ある自治組織のヒントがここにある!」~Part2~を実施(11月) 全戸配付及び転入世帯に「加入促進チラシ」を配付(3月)</p> <p>【効果】 自治組織は市内全域を網羅する団体である。平時又は非常時においても地域住民のために力を注ぐ、地域活動の根幹を成す団体でもある。その団体の活動を支援することで、より活力に満ちた地域を築くことが期待できる。</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
拡充	(1) 自治組織集会施設審議会(拡充) 自治組織の集会施設に関する調査及び審議をするため、審議会を設置する。
中長期的方向性	(2) 自治組織加入促進(拡充) 従来の加入促進策に加え、次の施策を展開する。 加入促進のぼり旗の作成・配付 加入促進パンフレットの充実 事業費補助金に加入促進事業の創設(1自治組織につき上限40,000円)
拡充	(3) 集会施設利用料補助(拡充) 集会所を所有していない自治組織(マンション等の集合住宅の自治組織)に対して、集会施設の利用料や借上料の補助を行い、他の自治組織との不公平感及び負担の軽減を図る。

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		市民活動支援センター運営事業		前年度の方向性	
				継続	
重点プロジェクト		"オールふじみ野"まちづくりプロジェクト			
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ~人がつながるまち~			
	施策	01 協働 - 市民が主役の地域の輪づくりを推進します -			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 10コミュニティ活動促進費			
所管部課		市民活動推進部 協働推進課		評価責任者	村田 頼信
事務事業期間		平成18年~		評価日	令和2年4月1日
個別計画 根拠法令・条例等		ふじみ野市立市民活動支援センター条例、ふじみ野市立市民活動支援センター条例施行規則、ふじみ野市市民活動コーディネーター設置規則			
事務事業の内容	事務事業の目的	市民の自主的で営利を目的としない社会に貢献する活動を支援することを目的とした施設の管理運営を通じて市民活動体制の整備及び充実を図る。			
	事務事業の経緯	市内で活動する市民活動団体やNPOを支援し、将来的にはまちづくりの担い手になる団体への活動支援、情報の交換・提供を図ることができる市民活動の拠点を設置する必要があったため平成18年5月に開所した。			
	事務事業の概要	コーディネーターによる市民活動に関する相談や情報提供、活動に資する講座の開催のほか、地域課題の解決に結び付けていくための団体育成を行う。市民の企画により団体同士の交流の場を設け、地域力の向上を図る。			
	令和元年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動への支援 市民活動の更なる活性化に向けて、コーディネーターによる市民活動に関する相談・支援や市民活動に関する情報収集・提供を行った。 研修講座の開催 市民活動団体をサポートするため、研修講座（プラスワン講座）を開催した。 市民活動交流会の開催 市民団体相互の情報交換や活動発表の場として、市民の企画運営による市民活動交流会を開催した。 			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.45	0.75	0.75
		人件費	3,644	5,984	5,984
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00	
	人件費	0	0	0	
人件費計		3,644	5,984	5,984	
事業費	報酬	3,120	3,120	3,511	
	賃金	0	0	0	
	需用費	207	259	304	
	委託料	2,704	2,729	3,110	
	使用料及び賃借料	152	139	258	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	24	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	243	194	1,741		
支出合計		10,070	12,424	14,932	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	20	28	62
一般財源		10,050	12,396	14,870	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		88	108	128	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	市民活動支援センターの登録団体数		
	説明	市民の協働によるまちづくりを行う機会の創出を図る指標となるため。 (平成18年度から実施している事業。指標の数値は累計)		
活動	単位	団体		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	125	130	135
	実績値	124	129	
指標 2	指標名	相談件数		
	説明	市民活動団体の役員を中心に団体の運営方法などの相談を受けた件数を活動指標とする。		
活動	単位	件		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	300	300	300
	実績値	180	160	
指標 3	指標名	市民活動交流会の参加人数		
	説明	市民活動団体同士やこれから市民活動を始めたい個人の交流の機会を提供する場として、市民活動交流会への参加者数を成果目標として捉える。		
成果	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	700	800	800
	実績値	700	859	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>市民活動交流会2020「入ってみよう 地域の輪！」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時、場所：令和2年2月2日(日)午前10時～午後3時30分 市民交流プラザ ・企画運営：市民活動交流会企画市民会議 ・催事内容：活動展示・発表、物品・食べ物販売、ステージ発表、ワークショップ、子ども広場、スタンプラリー ・内容：市民活動団体の紹介、団体相互の交流、市民と団体の交流、市民活動参加の機会の創出を目的として開催した。(参加者数：859名) <p>市民活動団体サポート「プラスワン講座」</p> <p>市民活動団体の活動をサポートする研修事業で、3回企画した。</p> <p>第1回プラスワン講座～挑戦！はじめてのエクセル～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時、場所：令和元年8月9日 午後1時30分～午後4時 市役所本庁舎3階A301会議室 ・内容：「挑戦！はじめてのエクセル」と題して、パソコンによる名簿や計算書の作成を通して、市民活動団体の運営や事務作業に役立つ講座を実施した。(参加者数：20名) <p>第2回プラスワン講座～健康づくりとコミュニケーション レクダンス！～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時、場所：令和元年9月24日 午前9時30分～11時45分 市民交流プラザ多目的ホール ・内容：「健康づくりとコミュニケーション レクダンス！」と題して、レクダンスを通して、健康づくりやコミュニケーションをとる事を目的として企画したが、参加者が集まらず中止となった。 <p>第3回プラスワン講座～散策 ふじみ野の秋を詠む・撮る～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時、場所：令和元年11月29日 午後1時30分～4時 市役所本庁舎3階A301会議室・福岡中央公園 ・内容：「散策 ふじみ野の秋を詠む・撮る」と題して、自然に触れ、交流と俳写作成の体験を通して楽しさを共有し、今後の豊かな生活につながる講座を実施した。(参加者数：20名)
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	平成30年度に比べ、市民活動交流会来場者数が増加した。 引き続きセンター、各種イベントの周知等を行うとともに、センターの効率的な運営を行う工夫をし、市民活動の活性化に向けた支援を行う。
中長期的方向性	
継続	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		おい祭り事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト		美しくにぎわいのあるまちプロジェクト			
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ~人がつながるまち~			
	施策	01 協働 - 市民が主役の地域の輪づくりを推進します -			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 10コミュニティ活動促進費			
所管部課		市民活動推進部 協働推進課		評価責任者	村田 頼信
事務事業期間		平成13年~		評価日	令和2年4月1日
個別計画 根拠法令・条例等		おい祭り補助金交付要綱、ふじみ野市補助金等交付要綱			
事務事業の内容	事務事業の目的	事業実施に当たり、市民により構成がされる実行委員会を組織し、実行委員会の活動を通じて多くの市民の参加と協力の下におおい祭りを開催する。本祭りは、市民、特に将来を担う子どもたちのふるさと意識の醸成を図るとともに市民融和を目的に実施している。			
	事務事業の経緯	旧大井町においては、各地域で祭りが開催されていたが、町全体をあげての祭りはなかったため、標記の目的を達成するために地域の祭りを一堂に会し、総合的なふるさとの祭りをつくろうと開催したのが始まりで、実行委員会方式により実施され、現在に至っている。			
	事務事業の概要	おい祭りの開催に当たり、実行委員会の事務局を市(協働推進課)が担当するとともに祭りの開催に要する費用の一部を補助している。			
	令和元年度の主な取組	おい祭りの開催に当たり、実行委員会の事務局を市(協働推進課)が担当した。また、祭りの開催に要する費用の一部を補助をした。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.55	0.85	0.85
		人件費	4,453	6,782	6,782
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		4,453	6,782	6,782	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	5,400	5,000	5,500	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	0	0	0		
支出合計		9,853	11,782	12,282	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		9,853	11,782	12,282	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		86	103	106	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	祭りの開催		
	説明	市民のコミュニティの場となるため、開催数を活動指標とする。 令和元年7月28日(日)に開催した。		
活動	単位	回		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	1	1	1
	実績値	1	1	
指標 2	指標名	広報活動の回数		
	説明	開催を市全体に周知するための活動指標となるため。 平成30年度同様の方法で周知を実施した。(市報、市広報板ポスター掲示、東上線広報板ポスター掲示、パンフレット全戸配布、観光機関紙掲載等) 令和2年度は追加で新たな周知方法を検討していく。		
活動	単位	回		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	22	25	25
	実績値	20	20	
指標 3	指標名	来場者数		
	説明	周知・広報活動の結果が来場者数であると考えられるため。 平成30年度に比べ、来場者が2,000人増加した。		
成果	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	70,000	75,000	75,000
	実績値	70,000	72,000	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>第19回おおい祭りの開催 日時：令和元年7月28日(日)正午～午後9時 模擬店販売開始：午前11時30分～ 場所：東久保中央公園、大井東中学校体育館及び周辺道路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント <ul style="list-style-type: none"> ステージ事業、ストリート事業、模擬店事業、子ども広場事業、青年バンド事業 ・おおい祭り実行委員会各種会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> 全体会議 5回 総務・保安・設営部会 1回 ステージ部会 4回 ストリート部会 3回 模擬店部会 3回 子ども・青年部会 1回 ・その他：会計監査を令和2年1月7日に実施 ・協賛金・チラシ広告募集 <ul style="list-style-type: none"> 5月から7月にかけて、実行委員による協賛金・チラシ広告募集のあいさつ回りを行った。 総実績：225件 2,556,000円
------------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	平成30年度に引き続き、安全・安心に来場者が楽しめる祭り運営を徹底し、市民のふるさと意識やコミュニティの醸成を図る。
中長期的方向性	
継続	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		旭ふれあいセンター管理運営事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ~人がつながるまち~			
	施策	01 協働 - 市民が主役の地域の輪づくりを推進します -			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 11コミュニティ施設費			
所管部課		市民活動推進部 協働推進課		評価責任者	村田 頼信
事務事業期間		平成6年~		評価日	令和2年4月1日
個別計画 根拠法令・条例等		ふじみ野市立旭ふれあいセンター条例、ふじみ野市立旭ふれあいセンター条例施行規則			
事務事業の内容	事務事業の目的	市民相互の交流を図り、住みよい地域社会の形成に資することを目的とする。			
	事務事業の経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・平成6年7月設置。 ・平成24年度から指定管理者制度を導入し、公益社団法人人間東部シルバー人材センターによる施設管理が行われている。 			
	事務事業の概要	指定管理者による施設の維持管理及び運営 事業内容 会議室等の貸出し業務 施設の利用促進活動 施設の維持管理			
	令和元年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年3月31日にて現指定管理者の指定期間が満了となるため、新規指定管理者の選定を行った。 ・年度末モニタリング、中間モニタリング及び月次報告に対するモニタリングを行い、提案事項の進捗確認や、収支状況の確認を行い、事業の軌道修正を行った。 			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.10	0.35	0.35
		人件費	810	2,793	2,793
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		810	2,793	2,793	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	5,810	5,813	7,204	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	4	4	4	
支出合計		6,624	8,610	10,001	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	1	0	1
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		6,623	8,610	10,000	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		58	75	86	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	年間開館日数		
	説明	ふじみ野市立旭ふれあいセンター条例に基づき、安全で適正に施設を開館した日数を活動指標として設定した。		
活動	単位	日		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	308	309	308
	実績値	308	272	
指標 2	指標名	年間利用人数		
	説明	市民活動に関する交流及び連携の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指標として、年間利用人数を成果として捉える。		
成果	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	15,000	15,000	15,000
	実績値	11,374	8,737	
指標 3	指標名	年間施設稼働率		
	説明	市民活動に関する交流及び連携の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指標として、年間施設稼働率を成果として捉える。		
成果	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	55.00	55.00	55.00
	実績値	46.10	41.60	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>指定管理者 公益社団法人人間東部シルバー人材センター（平成28年度～令和元年度） 月次報告、中間モニタリング、年度報告書を通じた管理手法の確認及び現地指導並びに、管理評価を行った。</p>
	<p>指定管理者の選定業務 選定の結果、公益社団法人人間東部シルバー人材センターに引き続き管理を委託する。（令和2年度～令和6年度）</p>
	<p>自主事業 旭ふれあい寄席、新春コンサート、小学生卓球広場を開講した。 開講数合計：15回 参加人数合計：175人</p>
	<p>施設修繕・改善（指定管理者） エントランス窓ガラス交換（1月）</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	令和2年度より、新しい指定期間となるため、建物・設備の計画的な修繕を実施するとともに、複合施設としての運営上の効率化を図る。利用者の利用しやすい施設環境を維持するなど、施設の認知度と稼働率の向上に努める。
中長期的方向性	
継続	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		鶴ヶ岡コミュニティセンター管理運営事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ~人がつながるまち~			
	施策	01 協働 - 市民が主役の地域の輪づくりを推進します -			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 11コミュニティ施設費			
所管部課		市民活動推進部 協働推進課		評価責任者	村田 頼信
事務事業期間		平成20年~		評価日	令和2年4月1日
個別計画 根拠法令・条例等		鶴ヶ岡複合施設条例、鶴ヶ岡複合施設条例施行規則、鶴ヶ岡コミュニティセンター及び大井中央公民館 鶴ヶ岡分館の区分並びに管理に関する規則			
事務事業の内容	事務事業の目的	市民活動に関する交流及び連携の場を提供し、地域の創造と発展に資することを目的とする。			
	事務事業の経緯	・平成20年5月設置。 ・設置当初から指定管理者制度を導入し、公益社団法人人間東部シルバー人材センターによる施設管理が行われている。			
	事務事業の概要	指定管理者による施設の維持管理及び運営 研修室等部屋の貸し出し業務 施設の利用促進活動 施設の維持管理（複合施設としての建物の維持管理（鶴ヶ岡分館）も含む）			
	令和元年度の主な取組	・令和2年3月31日にて現指定管理者の指定期間が満了となるため、新規指定管理者の選定を行った。 ・年度末モニタリング、中間モニタリング及び月次報告に対するモニタリングを行い、提案事項の進捗確認や、収支状況の確認を行い、事業の軌道修正を行った。 ・7月より新駐車場の運用を開始した。（9台分）			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.40	0.35	0.35
		人件費	3,239	2,793	2,793
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		3,239	2,793	2,793	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	14,522	14,057	15,594	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	9,688	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	6	6	7	
支出合計		27,455	16,856	18,394	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	1,604	0	0
		使用料・手数料	20	0	19
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	8,084	0	0
		その他	76	0	75
一般財源		17,671	16,856	18,300	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		155	147	157	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	年間開館日数		
	説明	ふじみ野市立鶴ヶ岡複合施設条例に基づき、安全で適正に施設を開館した日数を活動指標として設定した。		
活動	単位	日		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	308	309	308
	実績値	308	282	
指標 2	指標名	年間利用人数		
	説明	安全かつ快適なコミュニティ活動の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指標として、年間利用人数を成果として捉える。		
成果	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	28,000	28,000	28,000
	実績値	25,811	23,243	
指標 3	指標名	年間施設稼働率		
	説明	安全かつ快適なコミュニティ活動の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指標として、年間施設稼働率を成果として捉える。		
成果	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	70.00	70.00	70.00
	実績値	65.00	65.80	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>指定管理者 公益社団法人人間東部シルバー人材センター（平成28年度～令和元年度） 月次報告、中間モニタリング、年度報告書を通じた管理手法の確認及び現地指導並びに、管理評価を行った。</p>
	<p>指定管理者の選定業務 選定の結果、公益社団法人人間東部シルバー人材センターに引き続き管理を委託する。（令和2年度～令和6年度）</p>
	<p>自主事業 囲碁将棋の会、カラオケ教室等全10種の講座・教室を開講した。 開講数合計：56回 参加人数合計：1,640人</p>
	<p>施設修繕・改善（指定管理者） エレベーター非常用電源バッテリー及び電解コンデンサ取り替え（3月）</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	令和2年度より、新しい指定期間となるため、建物・設備の計画的な修繕を実施するとともに、複合施設としての運営上の効率化を図る。利用者の利用しやすい施設環境を維持するなど、施設の認知度と稼働率の向上に努める。
中長期的方向性	
継続	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		市民交流プラザ管理運営事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ~人がつながるまち~			
	施策	01 協働 - 市民が主役の地域の輪づくりを推進します -			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 11コミュニティ施設費			
所管部課		市民活動推進部 協働推進課		評価責任者	村田 頼信
事務事業期間		平成12年度~		評価日	令和2年4月1日
個別計画 根拠法令・条例等		ふじみ野市立市民交流プラザ条例 ふじみ野市立市民交流プラザ条例施行規則			
事務事業の内容	事務事業の目的	市民の幅広い活動と人とのふれあいや世代間の交流などの様々な市民交流活動を通じて、活力ある地域社会づくりを進める。			
	事務事業の経緯	<ul style="list-style-type: none"> 平成12年5月に開館。 平成23年度から指定管理者制度を導入し、毎日興業株式会社による施設管理が行われている。 			
	事務事業の概要	指定管理者による施設の維持管理及び運営 事業内容 会議室等の貸出し業務 施設の利用促進活動 施設の維持管理			
	令和元年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> 年度末モニタリング、中間モニタリング及び月次報告に対するモニタリングを行い、提案事項の進捗確認や、収支状況の確認を行い、事業の軌道修正を行った。 トラブル発生時の連絡体制の見直しを行い、市との迅速な情報共有の体制を再構築した。 自主事業である「筋膜リリース」を元気・健康マイレージ事業健康増進プログラムポイント対象事業とし、市民への幅広い宣伝を行った。 			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.55	0.35	0.35
		人件費	4,453	2,793	2,793
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		4,453	2,793	2,793	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	826	0	0	
	委託料	33,528	34,015	34,720	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	67	69	70	
支出合計		38,874	36,877	37,583	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	308	305	305
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	1
一般財源		38,566	36,572	37,277	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		338	320	321	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	年間開館日数		
	説明	ふじみ野市立市民交流プラザ条例に基づき、安全で適正に開館した日数を活動指標として設定（平成25年6月から祝日も開館）		
活動	単位	日		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	354	355	354
	実績値	354	328	
指標 2	指標名	年間利用人数		
	説明	安全かつ快適なコミュニティ活動の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指数として、年間利用人数を成果として捉える。		
成果	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	114,000	114,000	114,000
	実績値	111,360	100,304	
指標 3	指標名	年間施設稼働率		
	説明	安全かつ快適なコミュニティ活動の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指数として、年間施設稼働率を成果として捉える。		
成果	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	75.00	75.00	75.00
	実績値	68.40	66.60	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>指定管理者 毎日興業株式会社（令和元年度～令和5年度） 月次報告、中間モニタリング、年度報告書を通じた管理手法の確認及び現地指導並びに、管理評価を行った。</p> <p>自主事業 月曜太極拳教室、スペイン語教室等全30種の講座・教室を開講した。 開講数合計：857回 参加人数合計：6,197人</p> <p>施設修繕・改善 音楽練習室ミキサー交換 1階保健センター用GHPエンジンチューンナップ 市民交流プラザ用GHPエンジンオイル補充 外部軒下火災感知器6個交換補修 多目的ホール備品庫鉄扉シート貼替 東児童センター遊戯室防球ネット補修 空調機、吸排機ファンVベルト交換 各トイレ照明ぼたるスイッチに交換 受水槽マンホールパッキン交換 各室空調室内機フィルター洗浄清掃 保健センター機能訓練室引き戸ローラー交換</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	令和元年度は指定期間5年間のうちの1年目であった。指定管理者の管理運営については、施設の不良に伴う迅速な対応、さらには自主事業の運営に際して積極的な姿勢かつ、地域コミュニティの形成を目的とした展開を行っている点が高く評価できる。フクトピアは竣工からおよそ20年が経過することから、老朽化による影響の有無について、日々の安全管理に一層重点を置く必要がある。
中長期的方向性	
継続	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		コスモスホール管理運営事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ~人がつながるまち~			
	施策	01 協働 - 市民が主役の地域の輪づくりを推進します -			
予算費目 一般会計 02総務費 01総務管理費 11コミュニティ施設費					
所管部課		市民活動推進部 協働推進課		評価責任者	村田 頼信
事務事業期間		平成11年度~		評価日	令和2年4月1日
個別計画 根拠法令・条例等 ふじみ野市立コスモスホール条例 ふじみ野市立コスモスホール条例施行規則					
事務事業の内容	事務事業の目的	市民の文化活動及び余暇活動その他の市民活動の促進を図り市民福祉の増進に寄与する。			
	事務事業の経緯	<ul style="list-style-type: none"> 平成11年7月に開館。 平成23年度から指定管理者制度を導入し、毎日興業株式会社による施設管理が行われている。 			
	事務事業の概要	指定管理者による施設の維持管理及び運営 事業内容 会議室等の貸出し業務 施設の利用促進活動 施設の維持管理			
	令和元年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> 年度末モニタリング、中間モニタリング及び月次報告に対するモニタリングを行い、提案事項の進捗確認や、収支状況の確認を行い、事業の軌道修正を行った。 連絡体制の見直しを行い、市との迅速な情報共有の体制を再構築した。 空き室の有効活用と、地域に根ざした自主事業の積極的な展開、及び利用の促進を行った。 空調機（GHP）の設置に関して、指定管理者と協議を行った。令和2年度にて設置に関する設計業務を施行予定である。 			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.25	0.35	0.35
		人件費	2,024	2,793	2,793
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		2,024	2,793	2,793	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	2,140	2,171	3,916	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	4,682	0	0	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	0	0	0	
支出合計		8,846	4,964	6,709	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	1,035	0	1,053
一般財源	7,811	4,964	5,656		
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		68	43	49	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	年間開館日数		
	説明	ふじみ野市立コスモスホール条例に基づき、安全で適正に開館した日数を活動指標として設定した。		
活動	単位	日		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	335	334	334
	実績値	333	306	
指標 2	指標名	年間利用人数		
	説明	安全かつ快適なコミュニティ活動の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指標として、年間利用人数を成果として捉える。		
成果	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	13,000	13,000	13,000
	実績値	12,458	14,386	
指標 3	指標名	年間施設稼働率		
	説明	安全かつ快適なコミュニティ活動の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指数として、年間施設稼働率を成果として捉える。		
成果	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	80.00	80.00	80.00
	実績値	67.30	74.70	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>指定管理者 毎日興業株式会社（令和元年度～令和5年度） 月次報告、中間モニタリング、年度報告書を通じた管理手法の確認及び現地指導並びに、管理評価を行った。</p> <p>自主事業 土曜太極拳教室を開講した。 開講数合計：42講座 参加人数合計：411人</p> <p>施設修繕・改善 自動ドア制御部品更新</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	令和元年度は指定期間5年間のうちの1年目であった。課題としては、空調機の入替えのための設計業務である。指定管理者は、自主事業の運営に積極的な姿勢であり、地域コミュニティの形成を目的とした展開を行っている点は高く評価できる。引き続き、利用者の安全安心な利用のため、備品を含めた館内設備の点検を定期的に行うことが必要である。
中長期的方向性	
継続	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		うれし野まちづくり会館管理運営事業		前年度の方向性 縮小	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ~人がつながるまち~			
	施策	01 協働 - 市民が主役の地域の輪づくりを推進します -			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 11コミュニティ施設費			
所管部課		市民活動推進部 協働推進課		評価責任者	村田 頼信
事務事業期間		平成17年度~		評価日	令和2年4月1日
個別計画 根拠法令・条例等		地方自治法第237条、地方財政法第8条、ふじみ野市財産規則			
事務事業の内容	事務事業の目的	うれし野まちづくり会館の適正な維持管理を図る。			
	事務事業の経緯	平成21年度は、福祉部において当該会館の施設管理事業を行っていたが、平成22年度より管財課分室という位置づけになった。平成27年度からは協働推進課にて維持管理運営を行う。			
	事務事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・会館の管理運営 ・2階部分のNPO法人等への貸付業務 ・3階部分の市民への貸出業務（集会室・和室） 			
	令和元年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・不具合箇所の修繕を実施（鉄扉ドアクローザー交換修繕、地下入口通路蓋修繕、圧送ポンプ点検修理、湧水ポンプ交換修理） ・新型コロナウイルス対策として複数の人間の集会行為を規制するため、2階NPOベースを除く3階集会室及び和室の貸し部屋を3月4日から貸出中止とした。 			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.55	0.55	0.55
		人件費	4,453	4,388	4,388
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00	
	人件費	0	0	0	
人件費計		4,453	4,388	4,388	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	1,275	1,683	1,824	
	委託料	5,946	6,216	7,052	
	使用料及び賃借料	17	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	168	158	217		
支出合計		11,859	12,446	13,481	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	581	0	610
一般財源		11,278	12,446	12,871	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		99	109	111	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	年間開館日数		
	説明	安全で適正に開館した日数を活動指標として設定		
活動	単位	日		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	356	357	356
	実績値	356	326	
指標 2	指標名	年間利用人数		
	説明	活動の場を提供する施設として有効に活用されているかを図るため、年間利用人数を成果としてとらえる。		
成果	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	3,500	3,500	3,500
	実績値	3,734	2,790	
指標 3	指標名	年間施設稼働率		
	説明	活動の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指数として、年間施設稼働率を成果としてとらえる。		
成果	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	13.00	13.00	13.00
	実績値	15.80	14.60	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>3階地域開放部分の貸出：施設利用に係る受付事務を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用率 14.6% ・利用人数 2,790人 <p>2階NPOベースの貸出：2団体に貸出しを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人ふじみ野明るい社会づくりの会 ・NPO法人ふじみ野市学童保育の会 <p>修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄扉ドアクローザー交換修繕 32,400円 ・地下入口通路蓋修繕 148,500円 ・圧送ポンプ点検修理 88,560円 ・湧水ポンプ交換修理 395,395円
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	<ul style="list-style-type: none"> ・本施設の利活用の在り方に関する方針の決定及び具体的な改善対策を実施すること。 ・施設修繕
中長期的方向性	
継続	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		コミュニティセンター管理運営事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ~人がつながるまち~			
	施策	01 協働 - 市民が主役の地域の輪づくりを推進します -			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 11コミュニティ施設費			
所管部課		教育部 上福岡公民館		評価責任者	内田 徳子
事務事業期間		平成17年度~		評価日	令和2年7月1日
個別計画 根拠法令・条例等		ふじみ野市立コミュニティセンター条例、ふじみ野市立コミュニティセンター管理運営規則、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例 市民相互の交流、市民の市政への参加並びに市民文化の向上と福祉の増進に寄与する。			
事務事業の内容	事務事業の目的				
	事務事業の経緯	昭和54年コミュニティセンター開設以来、事務事業の目的達成のため、安全で安心して活動できる施設の維持管理・提供に努めている。			
	事務事業の概要	ふじみ野市立コミュニティセンター条例第1条に規定の施設設置目的を達成するため、施設運営と維持管理を行う。			
	令和元年度の主な取組	当該施設を市民が快適に、また安全に安心して活動が出来るよう施設の維持管理を実施した。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.50	0.50
		人件費	4,048	3,989
	再任用職員	従事人数(人)	0.10	0.10
		人件費	369	385
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.40	0.50
	人件費	588	665	
人件費計		5,005	5,039	4,374
事業費	報酬	0	0	0
	賃金	0	0	0
	需用費	9,720	9,211	210
	委託料	1,604	1,835	0
	使用料及び賃借料	488	207	0
	工事請負費	0	0	0
	負担金、補助及び交付金	0	0	0
	扶助費	0	0	0
その他事業費	405	94	48	
支出合計		16,633	15,722	4,632
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0
		県支出金	0	0
		使用料・手数料	0	89
		分担金・負担金	0	0
		地方債	0	0
		基金	0	0
		その他	0	146
一般財源		16,633	15,487	4,543
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		146	135	39

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	施設利用人数		
	説明	コミュニティセンターを利用した延べ人数、コミュニティ活動や事業などコミュニティセンターが市民の活動の場となっているかの指標。(3月末時点)		
活動	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	22,000	22,000	0
	実績値	21,757	19,218	
指標 2	指標名	施設稼働率		
	説明	施設が有効に利用されているかの指数。 ((利用区分数) ÷ (利用可能区分数)) × 100 (3月末時点)		
成果	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	50.00	50.00	0.00
	実績値	53.60	44.10	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	コミュニティセンターの概要			
	【定員】第1会議室 24人 / 第2会議室 30人 / 第3会議室 30人 / 第4会議室(和室) 30人 計114名			
	【施設提供】 年間を通じて各種の教室や講座、展示会を開催しているほか、サークルやグループに活動の場を提供している。			
	【開館時間】 午前9時～午後10時			
	施設の利用状況(3月末時点)			
	令和元年度	開館日数 306日		
	部屋名	述べ利用者数	利用区分数	利用率
	第1会議室	5,269人	440件	48%
	第2会議室	6,512人	427件	46.6%
	第3会議室	3,726人	380件	41.4%
第4会議室(和室)	3,711人	371件	40.5%	
計	19,218人	1,618件	44.1%	
施設管理状況				
令和元年度 主な施設修繕・工事の実績				
	・2階女子トイレ腰掛便器漏水修繕	21,600円		
	・1階女子トイレ便器フラッシュバルブ修繕	13,716円		
	・外灯修繕	24,840円		
	・2階女子トイレ便器詰まり修繕	5,720円		

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	令和2年度に大規模改修工事を実施することにより、利用頻度が向上することが予測されることがから、利用者が安全安心して利用できるよう、施設の維持管理を行なう。
中長期的方向性	
継続	